

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号：C-4-3								
事業名：農業用機械施設整備事業								
事業費：総額 1,306,692 千円 国費 980,543 千円 (内訳：委託料 19,420 千円、工事請負費 373,039 千円、備品購入費 914,233 千円)								
事業期間：平成 23 年度～平成 26 年度								
事業目的：東日本大震災による津波により流失・使用不可能となった農業機械及び施設について、 早期の営農再開を図るため、農業機械・施設の導入・整備を行う。								
事業地区：吉田・荒浜・逢隈地区								
<p>事業結果</p> <p>46 経営体（荒浜地区・吉田地区・逢隈地区） トラクター24 台、乗用田植機 37 台、コンバイン 34 台、乾燥機 110 台 糶摺機・計量選別機 28 台、選花機 2 台、その他農業用機械 167 台 ミニライスセンター12 施設</p> <p><平成 23 年度> 農業用機械 25 台導入 <平成 24 年度> 農業用機械 204 台導入、ミニライスセンター5 施設 <平成 25 年度> 農業用機械 83 台導入、ミニライスセンター6 施設 <平成 26 年度> 農業用機械 90 台導入、ミニライスセンター1 施設</p>								
事業の実績に関する評価								
<p>① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価</p> <p>○当該事業で整備したことにより、水田作・畑作の営農再開が可能となった。また、一部、 機械利用組合など組織的な作業体制の取り組みにより、作業の効率化が図られている。</p> <p>⇒ 上記を踏まえ、本事業は事業目的に即した効果を発揮していると判断する。</p>								
<p>② コストに関する調査・分析・評価</p> <p>○亘理町財務規則等に基づき、適正に価格算定を行っている。</p> <p>⇒ 上記を踏まえ、本事業に要したコストは妥当と判断する。</p>								
<p>③ 事業手法に関する調査・分析・評価</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>想定事業期間</th> <th>実際の事業期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>調査・発注・導入</td> <td>平成 24 年 1 月～平成 25 年 3 月</td> <td>平成 24 年 1 月～平成 27 年 4 月</td> </tr> </tbody> </table> <p>○農地復旧に合わせて、被災地域の農業の迅速な復興に当たって、様々な農業用施設等を一 体的に整備する必要があったため、事業期間延長となった（事業結果参照）。また当該事業 の整備が行われたことにより、水田作・畑作などの営農が再開し、作業の効率化、安定供給 などが図られた。</p> <p>⇒ 想定した事業期間には遅れたものの、被災した農地の復旧状況に併せて効率的に事業を進め たため、事業手法として妥当と判断する。</p>				想定事業期間	実際の事業期間	調査・発注・導入	平成 24 年 1 月～平成 25 年 3 月	平成 24 年 1 月～平成 27 年 4 月
	想定事業期間	実際の事業期間						
調査・発注・導入	平成 24 年 1 月～平成 25 年 3 月	平成 24 年 1 月～平成 27 年 4 月						
事業担当部局								
宮城県農政部農業振興課経営構造対策班 電話番号：022-211-2835 亘理町農林水産課整備班 電話番号：0223-34-0503								